

令和5年度 いのちの授業 事例集（高校）【その他】

掲載数

43

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市	高1	その他	What Is Happiness?	幸福度についての調査結果から過去と現在の、地域間の幸福感の比較を論じた文章を読み、幸福感を左右するものは何か、幸福を阻害するものは何かについて考察し、話し合った。	“BIG DIPPER English Communication I” (数研出版)
2 横須賀市	高1	その他	「子どもをはぐくむ」	「子どもとかかわる」の単元において、乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について学習した。 DVD教材やワークシートを活用しながら、子どもを生き育てることの意義を理解すると共に、将来にわたって積極的に子どもの成長に関わっていこうとする意欲を育てることができるよう指導を展開した。 この単元の指導を通して、生徒は改めていのちの大切さについて考えるきっかけになったと感じている。	「家庭基礎」 (必修科目) 教科書・DVD教材・ ワークシート使用
3 神奈川県	高2	その他	生徒と生を知る	思春期に起きやすい様々な問題に対処できる知識を会得し、心身ともに健康に生きるための力を育むための「2年生対象思春期講座」。『「性」と「生」を知ると人生があるきやすくなる!』と題し、産婦人科医を講師に迎え、高校生が抱える性の問題や、妊娠や避妊、生の尊厳さなどについて講義していただいた。生徒たちは、命の大切さを再認識し、真剣に話を聞いていた。講義終了後のアンケートなども反応がよく、講演はとても好評であった。	ポートサイド 女性総合クリニック ～ビバリータ～ 院長
4 神奈川県	高1	その他	デートDV	思春期に起きやすい様々な問題に対処できる知識を会得し、心身ともに健康に生きるための力を育むための「1年生対象思春期講座」。デートDV予防ワークショップを実施した。内容は前半はデートDVだけでなく、ハラスメント全体の話から始まり、後半はワークショップ形式でデートDVのある場面を想定し、その対処方法を考えるものであった。生徒たちが身近に起こり得る問題としてとらえ、真剣に話を聞く姿勢が見られた。終了後のアンケートも好評だった。	NPO法人 エンパワメント かながわ
5 神奈川県	高3	その他	障がい差別についての理解	障がい者にかかわる問題について、心理面・身体面・社会面から捉え、障がいの有無に関わらず、全ての人にとって住みやすい社会の実現について考えた。	教科：看護 科目：看護と倫理（学校設定科目） 教材：自主教材

6	神奈川県	高2	その他	沖縄戦とひめゆり学徒隊ほか多数の犠牲者、米軍占領下の沖縄住民について	琉球から始まる沖縄の歴史を学び、特に太平洋戦争の激戦地となった沖縄で暮らした人々、戦争の犠牲者となった人々、米軍占領下の沖縄に暮らした人々、現在でも米軍基地とともに生きる沖縄の人々に思いを馳せ、戦争の悲惨さと平和の重みについて考察した。	修学旅行訪問地である沖縄に関する英語による事前学習課題 総合的な探究の時間における地域研究課題学習
7	神奈川県	高3	その他	子どもの誕生	授業の中で、出産には様々なリスクがあることを確認した。出産を見たことがない生徒が出産について身近に感じてもらうために「コウノトリ」というドラマの一部を見て、出産のリスクや子どもの誕生について考えてもらう機会を設けた。「コウノトリ」というドラマは実際に行っていることが題材となっており、ドラマを見ることで出産には様々な医療関係者が関わり子どもと母親を守っていること、出産時の母親の気持ちなどが描かれており、新しい命の誕生について考えることができた。	家庭科専門科目「子どもの発達と保育」
8	神奈川県	高複合	その他	フェアトレード	世界で消費されるコーヒーは1日20億杯、しかし、コーヒー豆農家の収入は1日3円未満という均衡価格の理論が崩壊している現状があり、消費国と生産国の格差の問題に触れ、適正な価格で取引を行うことによって生産国の人々の生活や命を守ることにつながるという事実を消費国に住む消費者として認識し、自覚を持った消費行動をおこなう態度を身につけた。	商業専門科目「ビジネス基礎」2・3年複合
9	神奈川県	高1	その他	カンタータ「土の歌」を学び、「いのち」について考える	教科書「音楽I Tutti」に掲載されている「大地讃頌」を合唱するにあたり、曲が作られた背景を調べたり曲の構成を考え、一人ひとりが指揮することを体験した。その中で、「大地讃頌」が収められている組曲カンタータ「土の歌」の全曲についても学習し、戦争、原爆、自然災害の脅威と自然と人間の共生など作詞者の思いを通して現在を生きる自分と照らし合わせて、「いのち」について考えた。	音楽I 使用教科書：教育出版「音楽I 改訂版 Tutti」およびカワイ出版 混声合唱のためのカンタータ「土の歌」
10	神奈川県	高1	その他	平和について	パブロ・ピカソ「ゲルニカ」の作品鑑賞を通して、平和の尊さについて考えた。初めに作品を見てどんなものがどのような様子で描かれているかを読み取りノートにまとめた。また色づかいに注目し、無彩色のみで描かれていることから作者がどんな心情であったかを考えさせた。その後、描かれた時代背景等の説明を行い、作者の思いに寄り添いながら内容理解を深めた。様々なグレーが使われていることや作品の大きさに驚いている生徒もいた。	芸術（美術）教科書に掲載された作品
11	神奈川県	高3	その他	薬物乱用防止講話	薬物依存者の実態を伝えるべく、リハビリ施設より、薬物依存治療中の通所者を講演者として招き、依存の実態を語っていただいた。薬物依存についてあまり関心のない多くの生徒にとって、薬物は身近にある怖いものだというを知ってもらい、乱用・依存に至る可能性が誰にでもあるという啓発を行った。薬物依存者本人の話聞く機会は少ないと思わるので、生徒にとって衝撃と同時に意義のある講演であった。	講師：独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 横浜DARCケアセンター 通所者

12	神奈川県	高1	その他	性教育講話	思春期の性についての健康課題に関心を持ち、自己の問題としてとらえ適切な行動選択ができる態度と能力を養うことを目的として実施した。 性の知識だけではなく、性的同意やデートDV等、人とのかかわり方についても学んだ。また、他者を認め合うという意味で、LGBTについても学習した。 生徒は、講師からの質問に対して積極的に答え、大変関心を持って話を聞くことができた。	NPO法人 ピルコン
13	神奈川県	高2	その他	次世代をはぐくむ	家庭総合と家庭基礎の授業において、子どもの発達、親の役割、子育て支援と福祉について学習した。	教科書
14	神奈川県	高1	その他	現代の食生活	家庭基礎の授業において食生活分野の導入にあたり、初めにPFCバランスの崩れや孤食・個食といった現代の食生活の特徴について学習した。摂食や過食など乱れた食生活により健康を害した2人の高校生の事例をVTRで視聴し、体に入った食べ物は私たちの体の一部となり、日々の体調や健康を左右することを確認した。高校生となり、自分自身で食べ物を選んで食べる機会が増える中、健やかな食生活を送るために何を意識して過ごすことが大切かを考えることを通して命の尊厳について学んだ。	ワークシート（授業担当者作成） VTR NHK高校講座「家庭総合」
15	神奈川県	高1	その他	難民問題の現状について知り、いのちの重さについて考える	『いのちの持ち物けんさ』というJamboardをワークシートとして生徒に配付する。赤色・黄色・青色に分けて生徒の所有しているものを書かせる。赤は替わりのないもの（家族など）、青は替わりのあるもの（携帯電話など）、黄色は赤でも青でもないものである。難民はまず青から奪われて、黄色、赤色を奪われて、最後は自分しか残らない。動画で難民が実際に持って逃げたものが何かを知る。喪失を疑似体験し、難民の置かれている過酷な状況を自分事として考える授業を試みた。	（教材） ・Jamboard ・動画「リスト：彼らが手にしていたもの」
16	神奈川県	高複合	その他	人権講話	夏休み明けは生徒が不安を感じやすく、自死の割合が大きく増える傾向がある。そのため、夏季休業明けの全校集会で、人権講話の一環として、自死を予防するためのいのちの授業を行った。本校職員が講師として登壇し、その職員がそれまでの人生の中で経験したこと、教職員として経験したことを話し、生徒にいのちの重要性について語りかけた。生徒は、講話を真剣に受け止めて、他者への思いやりの大切さ、相談することでお互いを支えあうことができること、なにより自分自身のいのちの大切さについて再確認することができた。	講師は、本校保健体育の教職員。 プロジェクター等の資料を活用することで、わかりやすく理解することができた。
17	神奈川県	高1	その他	交通安全講話	交通事故による死亡者数が多いことの実態を把握し、普段の生活を振り返った。講演で交通ルール・マナーの指導を行い交通事故防止の意識向上を図った。事故を経験している生徒もいて、ヒヤリハットの例を確認しながら事故対策について考えさせるとともに、命を大切にすることを確認させた。	資料集を教材として使用
18	神奈川県	高1	その他	DIG演習	災害発生時、本校周辺がどのような状況になるかを想像し、その状況下でどの様に行動するか話し合った。また、災害緊急時に何が出来るか、保護者との連絡や引き取り方法について考えることをとおして、自らの命を守る行動および方法を確認させた。	地区の防災map、土砂災害map、本校防災活動マニュアル、学校周辺地図を使用

19	神奈川県	高2	その他	保育「子どもの誕生」「親になることを考えよう」「子どもを守る法律・制度」	青年期をいかに過ごすかは将来生まれてくる子どもの生命、健康と深くかかわってきている。生命に対する責任のある行動を務めるために、自分自身の心身の健康を大切にすることについて学習した。また、親や家族の養育態度や、子どもたちを守るための国際社会・日本社会における法制度等について学び、社会的弱者である子どもたちの生命や、人権を守ることに自分達はどのように行動していくべきなのか考えさせた。	赤ちゃん人形を用いた抱っこ体験の他、絵本の読み聞かせ、幼児用の文化財の活用について実習を行うことで、命を育むことについて具体的なイメージを持つことができた。
20	神奈川県	高3	その他	介護実習	介護実習の授業では、1年を通して介護の技術を学ぶとともに、要介護者が安全・安心して介護を受けられるよう注意点を生徒自身が考えながら行った。とくに入浴の介助では、要介護者が浴室で滑らないよう細心の注意を払ったり浴室内の温度が適温であるか、など要介護者の命の危険を考えながら実習をした。また、歩行介助においても要介護者が不安にならないよう階段や段差での細かな点に気を付けることを意識して行った。つねに生徒同士がお互いに気づき合いながら、介護の精神と人の命を預かる意識の大切さを学んだ。	
21	神奈川県	高1	その他	長井実習場で自然災害が起きたらどうする？	長井実習場での授業中に震度7の地震が起き、横須賀市が想定する最大津波が5分後に来ると仮定し、とるべき行動を考えると同時に、津波から身を守るために大切な3つのことを確認した。また、実習場周辺の地形を国土地理院の地図から読み取り、周辺地域の特性を把握したり、頼りになる施設や役に立ちそうな施設を整理したりした。危険な箇所を地図上で確認した後、実際にフィールドに出て避難経路や地図に落とし込んだ情報の確認を行い、起こり得るリスクについて議論した。自分の身の安全が確保できたあとに、自分自身が他者に対してできること（自助・共助・公助）について真剣に考えて、災害に備える姿勢を学んだ。	水産海洋基礎（DIG実習）担当者作成教材
22	神奈川県	高3	その他	福祉教育「違う高さ、視点から周囲を見てみよう」	障がい者との関わり、および障がい体験を通して、生徒が多様な視点を発見できた。中学時代の経験や、本校の授業の中で、バリアフリーや障がいの特性などを知識として理解してきた。しかし、実際にバリアフリーが本当にバリアを除去しているのか、障がいの特性を知っていても、その障がいがある人と円滑な関わりや対応ができるのか、車いすでの生活の不便さと不安などを体験的に学習した。特に身体障がい、生徒からは知っていても適切な対応ができなかったことや、車いすの介助はしても、車いすユーザーとしての体験、視点は欠けていた点を発見することができた。	本校の科目「社会福祉基礎」において、特別支援学校を訪問し、支援級の生徒とともにスポーツ、手話、農作業などを通して関わった。
23	神奈川県	高3	その他	福祉教育「手話を言語としている人との関わり」	手話の授業を通して、さまざまなコミュニケーション手段を学習し、実際に手話を言語としているろう者との交流から、手話以上に「伝える」ことの重要性を多くの生徒が学ぶことができたという感想があった。手話が分からなくても、表情や動きの大きさ、強さ、そしてお互いに相手のことを知りたいという思いが大切だということを実感できたとの感想もあった。ろう者は補聴器があるから聞こえると思っていた生徒も多く、情報がない中での生活は不安だと感じた生徒もいた。そのことを考えると、手話以上に、「相手のことを少しでも気に掛ける」ことで、ろう者の生活に協力できるのではないかと生徒は感じていた。	講師は、20代から60代の4名のろう者が本校に来られ、手話を中心に日ごろの学校生活や生徒にとっての楽しみ、夢などをテーマに会話していただいた。

24	神奈川県	高2	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・明日へつなぐ視点【5~6月】 ・災害時の食事について【10月】 ・多様な人々を想像した避難所運営を考える【2月】 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書1章章末課題として、章末の男女平等・多様性を尊重した社会に関する統計及び貧困・難民問題に関するインタビュー記事を読み、自分の意見をまとめた。課題は授業内で生徒間で発表させ、人と人の命のつながりについて考えを深めさせた。教科書2章章末課題として、章末の乳幼児期の芸術活動を中心とした保育記事及び自身のいじめ経験を踏まえて「こども六法」の作成にいたった著者のインタビュー記事を読み、自分の意見をまとめた。課題は授業内で生徒間で発表させ、幼い命についてどう社会全体で育んでいくか考えを深めさせた。 ・災害時の食事について授業を実施し、いのちをつなぐ災害時の食事について考えさせた。 ・家庭基礎の授業を通して一年間学んできたことの総まとめとして、乳幼児から高齢者までの多様な人々や衣食住のこれまでの知識をいかした上で、本校の立地を踏まえ多様な人々を想像した避難所運営を考えさせた。課題は授業内で生徒間で発表させ、より多くの人々のいのちを守る避難所運営について考えを深めさせた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実教「Agenda家庭基礎」
25	神奈川県	高2	その他	震災防災学習	<p>修学旅行の目的の一つである震災防災学習として、三陸鉄道震災学習列車（岩手県久慈市）に乗車した。車窓から当時山間で被害が少なかった地域や津波で全て流され広場のようになった場所、津波によって屋根が一部破損している水門を見学した。ドラマの舞台もあり、三陸鉄道の方々が観光を通して東北を盛り上げたいという思いを感じた。奇跡の水門と呼ばれた普代水門では、震災当時消防団に所属していた現地ガイドの方の講話を聞き、資料だけではわからない緊迫した様子を知ることができた。人が作ったものはいつか壊れる、過信せずすばやく逃げる必要があるという教訓が強く印象に残った。</p>	三陸鉄道乗務員による案内、普代村ボランティアによる講話等、車窓からの風景、写真、展示品等
26	神奈川県	高1	その他	薬物乱用	各ホームルームでDVDを視聴し、視聴後振り返りプリントを記入。薬物乱用による心身への影響、依存性、疾病との関連、社会への影響などについての理解を深め、適切な行動選択と意思決定ができる資質と力を身に着けることを目的とする。	福岡県警薬物乱用防止啓発用DVD
27	神奈川県	高2	その他	生命と性	各ホームルームにおいて、大学教授によるリモート形式での講演をおこなった。講演を通じて生命の尊厳と性についての正しい知識を習得し、自他ともに尊敬しあう思いやりの気持ちをはぐくむことを目的とする。	昭和大学助産学専攻科および保健医療学部看護学科教授
28	神奈川県	高2	その他	「Letters from a Battlefield」	「Letters from a Battlefield（戦場からの手紙）」という第二次世界大戦時の硫黄島での戦いを題材としたレッスンから命の尊さを学んだ。日本側の視点中心で書かれている題材であるが、生徒たちには導入部分で日本側の視点から硫黄島の戦いを描いた映画とアメリカ側からの視点から描いた映画の予告編を視聴してもらい、両者の視点を持ちながら学習を進めていった。その中で命には国籍や国境はなく全人類において平等であるということ学んだ。	外国語科職員 「硫黄島からの手紙」、「父親たちの星条旗」

29	神奈川県	高1	その他	肉用鶏の人工ふ化・飼育・解体	9月上旬に肉用鶏の有精卵をふ卵器にて21日間人工ふ化をさせ、生命誕生の瞬間を目の当たりにした。産まれたひなを育すう器に入れ、3週間育てることで、か弱い幼びなの気持ちに寄り添いながら適切な管理を行う態度を育んだ。その後平飼いで約2カ月間肥育した。育った肉用鶏は生徒の手でとさつ、中抜きをし、食品として販売できる形にまで処理する技術を養うと共に、畜産業は動物の命をいただいて成り立っている産業だと自覚させる授業を実践した。	教科書・肉用鶏 畜産科学科
30	神奈川県	高複合	その他	防災教育	災害発生時の具体的な対応を学び、DIG訓練で災害想像力を養うことを目的として実施した。全校での避難訓練、jamboardでのDIG訓練を行った。火災発生時の避難経路を確認し、他者に気を配りながら避難することの重要性を学んだ。また、旅行先として行く可能性がある地域の防災上の特性を考え、旅行前に避難場所を確認しておく効果を学んだ。これにより、防災意識を向上し、日常でも命を守るためにできることを考える機会となった。	講師：本校教諭 教材：自主作成教材 (スライド・ 地図画像)
31	神奈川県	高1	その他	スケアードストリート式交通安全教室	神奈川県トラック協会が主催、神奈川県教育委員会が共催し、(有)シャドウ・スタントプロダクションのスタントマンによる交通事故の再現を観覧、体験した。事故の恐ろしさを認識することにより、交通安全意識の向上を図ったものである。振り返りより「交通事故を目の当たりにし、その恐ろしさがよくわかった。今後はより一層交通ルールやマナーを守っていきたい。」といった声を多数聞くことができ、自らの命を守る意識を向上させる良い機会となった。	講師：相模原市警察署 署員、シャドウ・スタ ントプロダクション
32	神奈川県	高1	その他	命と人権について	家庭基礎の「共生社会と福祉」の単元の中で住生活にも関連付けて、ホームレスについて考えた。ワークやDVDの視聴から生徒たちは、ホームレスの方々の命や人権が守られていない現状を知り、誰もが適切な住環境にない「ホームレス」になりかねないことを学んだ。	DVD「『ホームレス』 と出会う子供たち」
33	神奈川県	高2	その他	和牛の人工授精【座学+実習】	まず座学で、和牛経営では1年1産を目指すため、牛が発情していることを見逃さないことが重要であること、そのために必要な発情兆候がどのようなものであるかを学んだ。続く実習で、実際に発情を迎えた牛に人工授精を行う様子を見学する。初めて人工授精をする若牛だったため、直腸検査では腸壁から出血したり、牛が目から涙を流したりする様子に、一緒に涙ぐむ生徒も見られた。教科書では当たり前前に語られる「人工授精」の技術だが、私たちが口にするすべての食肉が、このような繁殖管理によって支えられている現場を、実際に目で見て知ること、いのちの重さや食肉のありがたみを実感する機会となった。	講師は経験30年以上の ベテラン人工授精師。 学校で飼育している和 牛の発情に合わせて、 実習という形で種付け を行い、選択授業の受 講生が解説を聞きなが ら見学した。

34	神奈川県	高3	その他	一次救命処置とけがの手当	子どもの死因は不慮の事故が上位を占めているが、適切な手当てを素早く行うことにより、苦痛の軽減や悪化の防止ができる。本講座では心肺蘇生やAEDを用いた電気ショック、気道異物除去等を乳幼児人形を使って習得した。また身近にあるものを使って、けがの手当や応急処置を行い、傷病児の観察、協力者との連携を通して相手への共感能力、生命の大切さを学んだ。	<科目名> 幼児安全法 <教材> 幼児安全法講習（日本赤十字） 乳幼児の一次救命処置～市民用～（日本赤十字）
35	神奈川県	高3	その他	精神障がい理解	秦野市地域生活支援センター「ばれっと」の講師2名、スタッフ2名が来校し、生徒とのワークショップを通して精神障がいについて理解を深めた。ピアカウンセリングを行っている精神障がいの方々が、自らの体験や支援方法などについて語り、生徒はグループ毎に質問を通してコミュニケーションを深め支援のニーズを模索した。コミュニケーションを重ねる中で交流の大切さを実感し、地域で共に生きる大切さを学んだ。	<科目名> コミュニケーション技術 <講師> 秦野市地域生活支援センター「ばれっと」 <教材> 自主作成教材
36	神奈川県	高複合	その他	性感染症予防講演会	性の「生殖性」「快楽性」「連帯性」を理解し、生まれてきた喜びと今後の性の自己決定と健康の保持・増進のために予期せぬ妊娠や性感染症予防について学んだ。	昭和大学保健医療学部 看護学科 教授 PowerPointを使用
37	神奈川県	高複合	その他	薬物乱用防止教室	薬物乱用とはドラッグなどを使用することだけではなく、処方された薬や市販薬を正しい使い方をしないことも含まれ、人体に悪影響を及ぼすことをテーマに進められた。また、薬は手助けするもので、健全な食事、適度な運動、睡眠が大事だということも生徒にわかりやすく説明された。	講師は秦野総合高等学校 定時制薬剤師 PowerPointを使用 (くすりは正しく使ってこそくすり)
38	神奈川県	高2	その他	沖縄、宮古島の地域社会について学ぶ。	沖縄という日本の本島とは異なる社会状況の中で、その土地独特の文化を学んだ。中でも「まもる君」と呼ばれる像が宮古島各所に設置されていてその地域を守っている。設置後に交通事故の減少という効果ももたらしている。またそれがきっかけで犯罪の抑止にもなっている。	三省堂「Amity English Communication II」
39	神奈川県	高2	その他	がん教育授業	これからの高齢社会において、介護の専門職である介護福祉士は「看取り介護」や「終末期介護」の理解を進めていく必要がある。事前学習では、人生の最期を生きることに対して苦しみや悲しみの印象が多く聞かれ、終末期にある人への対応方法を考えることに難しさを感じていた。しかし、実際の緩和ケアの状況や終末期における患者さんと専門職とのエピソードを聞く中で、生活の中に楽しみや嬉しさもあることがわかり、自分たちにできることは何があるのか、グループで話し合う様子もみられた。	講師：相模原協同病院 緩和ケア専門看護師 事前学習資料：DVD「プロフェッショナル がん専門看護師」 緩和ケア病棟の様子をスライドで視覚化できたことで具体的なイメージを持ちながら学習することができていた。
40	神奈川県	高1	その他	大規模災害と防災介護について	1月1日に起こった能登半島地震をテーマに震災関連死や避難所における命の守り方について介護福祉士という視点からワークシートを活用し討論を行った。様々な立場の人たちが被災した際、どのような支援が求められるのか、また福祉や介護の力でどのようなことができるのか活発に意見交換が行われた。いのちを守るために私たち専門職ができることをあらためて考えるきっかけとなった授業だった。	社会福祉基礎教科書・ 自作ワークシート

41	神奈川県	高2	その他	性感染症予防講座	生徒たち自身が思春期である心や体について理解し、性の問題について適切な行動選択と意志決定ができる資質と能力を身に付ける。思春期特有の悩みを共有し、自己理解を深める。	国立成育医療研究センター 助産師
42	神奈川県	高複合	その他	安全教育	工業科実技系科目（工業技術基礎・実習・課題研究）において、年度初めに安全教育を実施し、けが・事故防止を主体的に考えさせ、年間を通じて実践させた。このことにより、周囲への気遣いや、周囲との協働等が必要であることを理解し、広く社会性を養う授業を展開した。	年度初めのオリエンテーションで実施している。
43	神奈川県	高複合	その他	生命と性の健康教室	生命・性について学び、自他ともに大切にする思いやりの心を育む。	本校 S C